



Uターン促進新聞広告「親のひとことが島根へ帰るきっかけでした」が 第42回(2022)新聞広告賞の広告賞を受賞しました

島根県が令和3年8月14日(土)と12月30日(木)に山陰中央新報に掲載した新聞広告「親のひとことがきっかけでした」が、一般社団法人日本新聞協会が主催する「第42回新聞広告賞」の広告主部門で広告賞を受賞しました。

島根県が同賞を受賞するのは第40回新聞広告賞に次いで2回目となります。

■広告賞

部門：広告主部門(応募総数220件 大賞1件、広告賞5件、優秀賞11件)

広告主：島根県

広告活動・キャンペーン名：Uターン促進企画「親のひとことが島根へ帰るきっかけでした」

※ 贈賞式は10月20日(木)に東京都内で行われます。

■広告内容

- ・山陰中央新報ラッピング広告(60段) 令和3年8月14日掲載

「親のひとことが島根へ帰るきっかけでした。」をキャッチコピーに、親をターゲットとした若年層のUターン促進広報を掲載。

デジタルとの融合広告として、紙面に動画閲覧用の二次元コードを掲載。

動画は親と子、それぞれの視点で2種作成。

- ・山陰中央新報見開き広告(30段) 令和3年12月30日掲載

島根にUターンした人の「Uターンするきっかけとなった家族とのエピソード」を掲載。

■受賞コメント(地域振興部長 藤井洋一)

Uターンを呼びかける手法として「親から子へのアプローチ」に着目し、このような広告を企画しました。都会と島根のコントラストを用いながら、親を想う子の気持ちと、子を想う親の気持ちを新聞広告とWEBでの動画を組み合わせるなどして表現したところ、多くの方から反響をいただきました。

島根県としては、一昨年に続き2回目の受賞とのことで、大変嬉しく思っております。

今後も、新聞を開く読み手の姿をイメージしながら、心に届く広報に努めてまいります。

島根創生計画	IV島根を創る人をふやす 2 新しい人の流れづくり (3) Uターン・Iターンの促進 (P.50)
--------	---

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和4年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuuR4.pdf>



(島根創生計画)

https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf



【おもて面】（動画 <https://www.youtube.com/watch?v=YsqyjtvYvQU>）



山陰中央新報見開き広告（R3.12.30）

Uターンした人に聞いてみた 島根にUターンするきっかけとなった 家族とのエピソードを教えてください

2023年度は、2,144人が島根にUターンしました。「夢のある場所で充実した暮らしを実現したい」「地元をみんなで盛り上げたい」。理由は様々ですが、地元の家から第一歩がきっかけとなった方もたくさんいます。親子や家族で話し合ってみませんか。これからの「自分のこと」「家族のこと」「ふるさとのこと」

島根県観光局 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課

「近くにいれてほしい」という親からの言葉。子供の存在が島根に居る決め手でした。

「親孝行できればな」という想いと、利便ない親との会話が通るきっかけに。

島根県観光局 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課 島根県観光局観光課

公益財団法人 Uターン・リターンを支援します
ふるさと家族定住財団
URL: <https://www.furukazari.or.jp> TEL: 0952-28-5670
海外のふるさと定住・雇用情報コーナー
東京 TEL: 0120-440-2557 大阪 TEL: 0120-70-2557 広島 TEL: 0800-139-4438